

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	今後も「できること」「できそうなこと」「各活動の要望」「行動障害(原因)」「解決策」等のアセスメントを増やすと共に、センター方式等の活用も検討予定である。ホーム内の書類を全て再確認し、保管方法の検討も行う予定である。	日々の健康管理や重度化予防に努め、体調維持管理ができ、介護度が軽くなる方もおられる。医師や歯科医師、看護師からのアドバイスもあり、「薬や注射がきちんとできます」「体力にあった運動療法を行います」等の目標を作り、3表(日課表)に24時間のケアの留意点を記入する。	「できること」「できそうなこと」「各活動の要望」「行動障害(原因)」「解決策」等のアセスメントを増やすと共に、センター方式等の活用を検討予定。ホーム内の書類を全て再確認し、保管方法を改善現在進行中。	12ヶ月
2	33	今後もホームの医療連携看護師の研修機会を作り、重度化や終末期の知識を増やす予定である。各種同意書等を再確認し、家族等への説明と同意の時期や保管方法などを含め、職員全員が共有できるマニュアル作りを行う予定である。	「ここで最後までと希望される方の思いを大切に、昼夜共に看護師に連絡でき、必要時は点滴も行き、協力医から「夜間の往診も可能」と言うお言葉を頂いている。栄養・水分・排泄・清潔のケアと共に、温かい眼差しで寄り添い、誠心誠意のケアを行う。医療の必要な場合は入院手続きも行い利用者容態急変時の対応も可能。	今後もホームの医療連携看護師の研修機会を作り、重度化や終末期の知識を増やす予定である。各種同意書等を再確認し、家族等への説明と同意の時期や保管方法などを含め、職員全員が共有できるマニュアル作りを行う。	3ヶ月
3	35	今後も消防団長、民生委員、自治会長、老人会長、婦人会長、ご近所の住民の方々に、災害時の協力体制のアンケートをさせて頂きたいと考えている。運営推進会議で頂いた火災予防のアドバイスに関する取り組み状況を報告すると共に、訓練時の反省点の記録を詳細に残し、マニュアルに繋げていく予定である。	消防署も一緒に夜間想定避難訓練をしている。職員による自主訓練も行われ、地震や津波等の対策をマニュアル化し、廊下に掲示している。「山ユニット」は2階にあり、布団を使って階段を下りる訓練もしている。災害に備えて水や食料、野菜や米、各種食品、マスク2000枚等も準備し、湧水も利用できる。太陽光発電も設置し緊急時に備える。	今後も消防団団長、民生委員、自治会長、老人会長、婦人会長、ご近所の住民の方々に、災害時の協力体制のアンケートをさせて頂きたいと考えている。運営推進会議で頂いた火災予防のアドバイスに関する取り組み状況を報告すると共に、訓練時の反省点の記録を詳細に残し、マニュアルにつなげていく。	36ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月